

## 地域連携推進会議 議事録

事業所名	広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの
サービス種別	生活訓練・生活介護・就労移行支援・施設入所支援・短期入所
所在地	広島県東広島市西条田口 295-3
開催日時	令和8年2月15日（日）9：00～10：30
場 所	あけぼの会議室
出席者 (計7名)	あけぼの利用者 1名、 利用者家族 1名、 地域の関係者として 1名、 福祉・経営に知見のある人として 1名、 施設所在地の市町担当者等として 1名、 あけぼの施設長 1名、 あけぼの職員 1名（計7名）
議題内容	<p>(1) 地域連携推進会議について 資料1のとおり説明する。</p> <p>(2) 経営状況について 資料2により説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・あけぼの利用状況</li><li>・収支状況</li><li>・収支改善への取り組み状況</li><li>・これまでの取り組み</li></ul> <p>(3) 利用者の権利擁護について 利用者満足度調査及び意見に対する回答（資料3）について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和7年度9月実施（在籍利用者対象アンケート集計結果）</li><li>・令和7年1月1日～12月31日（期間内に利用終了した利用者対象アンケート集計結果）</li></ul> <p>満足度調査で明らかになった、職員による不適切な対応について、虐待防止委員会で審議した結果、虐待には該当しないものの極めて不適切な事案であるとして、該当職員に対し、課長が面談し指導した。改善が見込まれない場合、異動や契約解除も視野に入れ対応していく。</p> <p>また、令和3年度にあけぼので起こった虐待事案について口頭で説明する。</p>

(4) 施設見学

(施設入所支援、生活介護、生活訓練、就労移行支援)の各事業活動の見学説明

5) 質疑応答

【質問】

・利用者の男女比等について

⇒生活習慣病を原因とする方が多い。男性が3/4、女性が1/4。

年齢構成は50歳台が多い。

・施設の老朽化等の建て替えや修繕については、県の補助なのか自主で行うのか。

⇒建物は県、運営は事業団となっており、県に修繕の要望は伝えている。必要性は認められているが、いつになるか未定。

建て替え後は、利用者が自宅やグループホームに円滑に移行(適応)できるようにコンパクトな規模の施設をイメージしている。

【感想】

・(虐待案件など)他人ごとではないと思いながら話を聞いた。(福祉・経営に知見のある人)

・高次脳機能障害の支援の大変さ、受けても受けても赤字になる(制度上、不採算事業のため)、支援のスキルが必要、一人夜勤など職員の苦勞を感じた。また民間ができない部分の使命感を感じた。(福祉・経営に知見のある人)

・会議、見学を経て、利用のイメージができたので、今後の相談も引き続きよろしくお願いします。(施設所在地の市町担当者)

・あけぼのができた当初おりづると祭りをしていたところが懐かしい。当初は身体障害者の方だけだったので車いすの方の支援をしていたが、利用対象者も変わってきており、歳月を感じた。(地域の関係者)

・老朽化のためしょうがないが、壁紙や通所事業の部屋の壁が気になる。(地域の関係者)

・食事が同じものや同じ味付けが多く、飽きを感じる。(利用者)